



座光寺風景

リニア時代を迎えても 唐沢地区の変わらぬ絆を

9月10日（日）唐沢地区では「蚕玉様111年祭」を、牧野飯田市長、福田自治会長ご列席のもと盛大に挙行されました。この日は親睦会も企画され「蚕玉様」を通して地区の絆を深めました。



唐沢地区のまん中の大変見晴らしの良い小高い丘に「蚕玉様」が祀られています。明治三十九年唐沢は戸数が三十戸程で、殆どが農家で、養蚕での収入は大きく「お蚕様」に感謝を込め蚕玉大神の石碑を建立しました。昭和八年には懸案だった石段を各戸で一名、三日間の労働協力と寄附で完成したと残されています。その時より「蚕玉様祭」は始まり年に三回、百十一年の長い間、全戸参加の親睦会が続いています。

私が地区長の時に百年を迎え、その頃世帯数が著しく増え、世代の若返りで唐沢の慣習に理解、伝承が伝えられないと「百年祭」を挙行しました。1が三個並んだ111年祭りの決定はやはり、「蚕玉様祭」の席でした。七月には有志ら三十人で整備を行い、意気を高めました。



九月十日、すばらしい天気の中で会場作りが始まりました。スティージや風船での飾りつけ、山羊・兎・鶏などのふれあい動物園、売店では綿菓子、かき氷、ポップコーンそして輪投げ、射的、ヨーヨー、金魚釣りなど、各担当者が手際よく進め最後に「唐沢111年祭」の看板を建て準備完了。

飯田市長、福田自治会長に御出席頂いた式典、組合対抗囲碁ボールが始まると共に会場の方も大盛況、恒例の焼肉大会も満員御礼で若い親子連れが多く、頼もしさを感じられました。夜も更けカラオケの美声？の中で、二一組から十組までタイトルを付けての花火の打ち上げ「唐沢の発展、変わらぬ絆」の追い打ちで締めくくりました。皆の笑顔そして交流、変わっていくこの地域、次回はいづかなあ。



恒例の焼肉大会

平成二十九年 度 防 災 訓 練

傷病者搬送訓練に

ついて

四区連絡長 片桐 芳治

九月三日(日)、座光寺地域防災訓練が行われました。四区としての訓練は災害時に少しでも役に立つことはないかと考え、傷病者搬送訓練を行うこととし、専門家である消防署座光寺分署の消防士さんにお越しいただき講習を行いました。

まず訓練の目的ですが、災害時に危険な場所にいる傷病者や、要支援者をその場に居合わせた人が協力し、できるだけ苦痛を与えず安全に搬送させる方法を学ぶということです。

ただ基本的には、動かさないで救急車を待つことが前提ですが、大規模災害が起こった場合の適切な搬送法を学ぶ必要があるとあります。訓練の内容としては最初に応急担架による搬送法を行いました。丈夫な棒を毛布でくるみ、摩擦を利用して滑らないようにして応急担架を作りました。

次に毛布しかない場合の応急担架で、毛布の両端を丸め持ちやすくして握り、持ち上げて搬送する方法です。棒がないので四名以上での救助者の場合に適しています。

続いて徒手搬送法の訓練です。一名で皆後ろから搬送する方法、二名で傷病者の前後を抱えて搬送する方法を行いました。搬送方法には色々ありますが、臨機応変に傷病者や要支援者の状態に適した方法で搬送を行うことが大切です。

赤十字奉仕団の活動

日赤奉仕団分団長

斉藤 順子

日頃奉仕団活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。奉仕団は、災害時に救援救護を行う団体です。大震災など自然災害の発生が懸念される中、防災への関心も高まってきております。炊き出し訓練、救急員による救護訓練講習を受け前進に努めております。また八月に、自治振興センター玄関のドアに、ガラス飛散防止フィルム貼りを行いました。防災訓練の際に窓ガラスに、フィルム貼りをしたものと、しない窓とを割ってみていか



担架による搬送法訓練

に飛散防止フィルムを貼った方が良いか、皆様に見ていただき、感心を持っていただきました。消防団の皆様や自治会組織の皆様と協力し、より一層地域に貢献できる様、活動していきたいと思っております。



座光寺の子どもを語る会

座光寺小学校PTA会長

尾曾 和弘

今年度PTA会長を務めさせて頂いておりますが、この「座光寺の子どもを語る会」と言う会があることに驚き、今

まで何も携わっていないことに申し訳なさいっぱいでした。実際、男親はこの様な役職に就かなければ知らずに過ぎ、この「座光寺の子どもを語る会」で座光寺の子どもたちのこれからの未来を二十数名の方たちで相談、話し合いがなされていることすら知らずにいた事と思います。

話し合いの中では保育園の園長先生を始め、小学校、中学校の校長先生から今、「子どもたちがどんなことに興味を抱いているか」「どんな遊びをして過ごしているか」そして基本的なこと(あいさつ・履物を揃える・自分のことが出来る)が園児自身で出来るよう導いていることや、今の児童は体力の中でも「投げる」とが弱い、「一学期学校のガラスが一枚も割れていない」と

と、そして中体連で活躍し北信越大会に相撲、全国大会に水泳で生徒が出場した(相撲部があったことすら知らない)など実際の教育現場でしかわからない情報を共有することができました。そして、子どもたちに今何が起きていて何が必要で何をすべきなのか、そして未来の子どもたちの為に何をしていくべきなのか、

関連する各種団体のみなさんと一緒に考えている会であります。聞いたところによると「座光寺の子どもを語る会」は十年以上前から名前の通り、座光寺の子どもの為に諸先輩方が延々と未来ある子どもたちのことを想い活動を続けてきた会と聞きました。ただ最初に述べた通り、一部の団体一部の人たちにしかまだ認知されていないような気がします。

十月にこの会を開催し六十名の参加人数の多い少ないは分かりませんが近い将来にその先の未来に我が子、座光寺の子どもにも明るい希望が開ける様に今、我々「座光寺の大人達」がこの活動を一歩ずつ前進させていくことが大事だと思います。



「飯田線に乗って古墳を見に行く」に参加して

木下 秀司



小雨のぱらつくあいにくの天気にも関わらず、小学生から七十代ご夫婦まで

十五名程の参加がありました。朝八時三十分元善光寺駅に到着した皆さんを高岡第一号古墳にご案内、四十分程の見学時間でしたが石室の中にも入っていただきました。皆さんからは、「古墳がきれいに整備されており見学し易かった」とのお声をいただきました。車窓から秋の伊那谷を楽しみ下山村駅で下車、松尾地区では、姫塚古墳他四基を見学、竜丘地区に移動して、塚原古墳群、飯田市考古資料館、他二基の古墳を見学し最後に川路地区の久保田一号古墳を見学して川路駅へ、私有地の為、今回初めて石室の中を見学した古墳も有り大変貴重な体験ができました。桜の時期になったらお花見とともに、座光寺の古墳めぐりにお誘いしてみたいかがですか。

敬老祝賀会

上沼 琢仁

台風が日本列島に接近しつつある雨降りの十月二十二日敬老祝賀会が行われました。雨にもかかわらず七十余名の方々にご参加頂きました。

今年は衆議院選挙投票所に公民館を利用するために、人形劇ホールへ変更されました。祝賀式典では小中学生による作文発表と小学六年によるダンスで元氣と活力をもらいました。その後、腹話術による交通安全教室が行われました。

続いて湯澤市議の乾杯のご発声で祝宴が始まりました。ハーモニカ、詩吟、歌、日本舞踊が披露され、小学校の田本校長による万歳三唱で開きとなりました。



参加頂いた皆様には楽しんで頂けたのではないかと思います。また来年もより多くの御参加をお待ちします。

麻績舞台校舎で

里山コンサート

筒井 誠逸



①素晴らしい演奏でした。感動しました。②素敵な演奏でした。あんな演奏をしないです。③

台風に負けない迫力ある演奏でした。④楽しく聞かせていただいた。ホルンも素晴らしい迫力でした。⑤生の音楽場所最高です。⑥時間に迫られる日常の中で、ひとときの癒しをいただきました。などのアンケート・感想がミューラルテットの皆様に届きました。

十月二十二日衆議院選挙と台風が来た悪い条件の中「秋の里山コンサート」を強行しました。昨年の弦楽四重奏の若きアーティスト四名に今年よりホルンの松井さんをゲストに開催しました。昨年より一段と成長した四名にとっても感動し、又、男性ホルンの力強い音色が舞台校舎に響きわたりました。この校舎を建てた座光寺の大先輩達もさぞ一緒に楽しんだことでしょう。

史跡恒川官衙遺跡整備基本計画(素案)について

十二月十六(土)午後六時三十分から座光寺公民館にて、国史跡恒川官衙遺跡整備基本計画(素案)についての説明会が飯田市教育委員会の主催により開催されました。

主な内容としては

「史跡恒川官衙遺跡整備基本計画」は、史跡公園として整備を行う史跡恒川官衙遺跡の適切な保存と活用を図るための基本的な整備内容を策定するものです。

整備基本計画では史跡公園を、史跡恒川官衙遺跡を保存継承する場、その存在と価値を情報発信する場、住民や市民などの憩い・交流の場などとするよう整備を行う方針です。

整備の基本的計画は、正倉(稲などを納めた倉庫)や区画の溝など当時の役所の遺構を、その場所に復元したり、地表面に位置・大きさの表示をしたりします。恒川清水については、現状の石垣による区画を活かし、水を湛えた清水の景観の復元整備を行います。

また、史跡恒川官衙遺跡の価値や当地域の魅力を伝えるとともに、地域の皆さんの活動拠点となる施設としてガイドランス施設を整備します。

その他、史跡恒川官衙遺跡の価値や内容を伝える説明板・案内板や、憩いの空間整備として四阿(あずまや)・ベンチ・水飲み場なども整備します。

この整備基本計画は、引き続き広く意見をいただき、必要な加筆・修正を加えて今年度末(平成三十年三月末)までに完成させる予定です。

飯田市教育委員会では、整備基本計画へのご意見・ご質問(パブリックコメント)を広く募集致します。

期間は平成三十年一月二十二日～二月二十二日。自治振興センターの意見箱若しくは、飯田市ホームページまでご意見をお寄せください。

●お問い合わせ

飯田市教育委員会
生涯学習・スポーツ課
0265-224511
(内線3752)

渋谷区とのシールドル プロジェクトについて



湯澤 英範

渋谷区原宿、表参道の横丁通称キャットストリートを魅力ある街にしたいとの原宿区民の願いから、平成二十二年三月、交流の縁で座光寺のりんごの木が植えられた。

りんごは、順調に育ち二年目から実を結び、区民をはじめ通行人の関心と呼び、住民間の交流も進展した。

ところが、想定はしていたものの秋の収穫期前には、多くの実が取られたり、座光寺からの指導があるとはいえず、りんごの管理が、関係者の高齢化などで大きな負担となり、ストリートりんごの行く末に不安材料を抱えていた。

こんな折、飯田市では農業振興策として、りんごのシールドル（発泡酒）づくりが推奨されており、果敢にチャレンジしていた座光寺の若者の協力を得て、渋谷とのシールドルづくりを検討した。

そこで、渋谷側に、「若い人や女性に興味を引くシールドル」という新たな切り口で、りんごに関心を寄せる取り組みは

如何か」と提案し快諾を得た。

早速、渋谷区長さんが直々に粋なラベル「原宿」を作成。

更に来春には、座光寺と原宿のりんごをブレンドしたシールドルが完成。六月に両首長が出席し原宿のりんごをアピールする完成祝いを行う。

このシールドルがストリートりんごに新たな話題が生じ、街並みの魅力につながり、さらに飯田のりんご並木の精神が渋谷でも花開くことになれば、座光寺との交流の絆がさらに深まるものと熱い期待を寄せている。



見て食べて交流育む パノラマファーム大門場

代田 勝

好天に恵まれた十月一日、

渋谷区緑の環境交流事業として、当園パノラマファーム大門に渋谷区民の皆様が来てくれました。大門の広場に集合すると前方に見える南アルプスを眺めながら美味しい空気に感動しておりました。毎年参加している方々は、すっかり顔なじみになり自然と話も弾みました。

福田自治会長の挨拶の中でリニア中央新幹線とスマートインターチェンジの話があり、南アルプスをトンネルで結び東京から飯田まで約四十五分

渋谷フェスティバル 2017に参加して

棚田 健治

十一月四、五日と東京都渋谷区の代々木公園にて開催されたイベントにアクティブ座光寺として参加させていただけでなくことになり、飯田市の特産物を販売してきました。

この催しは、舞台発表や、吹奏楽パレード、物産販売などがあり、総来場者数は一万

で行き来ができるようになると聞くと皆さんは大変驚いていました。中には「ここで暮らしてみたい！」という方もいらつしました。

農業体験の一つ目は「リンゴ狩り」です。

担当の常間地さんからリンゴの栽培方法や、もぎ取り方法を聞くと、早速、真っ赤に実った「シナノスイート」を一人一つずつ収穫しました。丸かじりをする则皆さんの「美味しい！」という声がかきこえてきました。

農業体験の二つ目は、さつ

人規模になっています。そこで私たちは、「おやき、鮎の塩焼き、五平餅」を販売し、飯田市もアピールしてきました。

販売には、東京在住飯田市出身者のお手伝いもあり、大盛況のうちに終えることができました。中には「以前に買って美味しかったのでま



ま芋を掘りました。土の中から大きなさつま芋が収穫できたので、早速、焼き芋にして食べました。普段ではなかなか味わうことができない体験と味にとっても感動してくれました。

その後、「アサギマダラ」の観察をして体験は二時間あまりで終わりました。皆様が「また来年も来たい」と言ってくださりととても嬉しかったです。これからも交流の輪が長く続いていくことを願っています。最後に、この交流事業にかかわる全ての方々に感謝を申し上げます。

「来ました」という嬉しい一言葉を頂戴することもあり感激しました。特に「おやきは、二日分の仕入れが初

日で終わつてしまい、急遽追加発注し対応しました。

二日間を通して目的でもあった、「座光寺の魅力が地区外へ発信する」は十分に達成することができたと考えています。



健康体操

11月20日(月)
公民館大会議室

講師に健康運動指導士の小林新一さんをむかえ「運動教室」が行われました。最高気温が8℃と冬のような寒さの中、十四名の方が、参加されました。

「健康体操」とは「介護予防運動」とも呼ばれ、要介護状態になる三つの主な要因「メタボ」「口コモ」「認知症」を予防、改善する為の体操（運動）です。とは言っても難しい事をするのではなく、椅子に座って手や足を動かす簡単な運動でした。右手と左手で違う動きをしたり、手と足を違うリズムで動かしたり、二つ以上の運動を同時にすると脳に刺激を与えて認知症予防にもなるそうです。



また、ひざ痛などの関節痛は、関節の周りの筋肉を鍛えることで改善されるとの事でし

た。実際に教えてもらいながら運動しましたがそんなに激しい運動ではないもののその運動で使っている筋肉や伸ばしているスジが実感できる運動でした。1時間程の講座でしたが、最後に小林先生から「継続してやる事が大事です。」とアドバイスを頂き、終了となりました。

（広報今村）

※口コモティブシンドローム（骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰え、要介護になる危険性が高くなる状態の事）

秋の全国交通安全運動
人波作戦を終えて

生活安全委員会 森谷 公雄

秋の全国交通安全運動が九月二十一日に始まり、飯田市の各地にて街頭啓発活動が行われました。



座光寺では今回、開所式と出発式があり早朝よりたくさんの方々の出席をいただき、生活安全委員と共にのぼり旗を持ってドライバーの方達へ呼びかけを行いました。約三十五名にての人波作戦は、通

勤時間帯という事もあり多くのドライバーの方達へ安全運転の呼びかけが出来たのではないかと思います。

また夕方より、合同人波作戦を上郷、松尾、鼎の方々と共に夕暮れ時の早めの点灯等の呼びかけを行いました。こういった様々な啓発活動を行うことにより、一人でも多くの方にシートベルト着用を、そして一件でも交通事故、飲酒運転がなくなっていくことを願います。

ふるさと探検

ふるさとたんけんに参加して

座光寺小四年 久保田優希

わたしは、この辺りに古ふんが六つある事を知りました。高岡第一号古ふんの形が、前方後円ふんという形だと知りました。

次に、公民館の上のグラウンドで火おこし体験をしました。けむりも、黒いこなも出ていたのに、火が付きませんでした。弟は、一回で火がついたので、いいなあと、思いました。四回目くらいでやっとつきました。お手本のおじいさんは一回でつきました。



おじいさんのつけた火でやきいもを少し熱

ど、ホクホクしてあまくて、おいしかったです。

最後の感想発表で、感想が言えてうれしかったです。

またこういう行事があったら参加したいです。

ふるさと探検に参加して

棚田すみこ

「ふるさと探検」に子ども達と主人に参加させて頂きました。初めに高岡第一号古墳で公民館長さんより古墳についての説明をして頂きました。

「この古墳は六世紀前半のものだよ。六世紀つていつ頃のことか分かるかな。古墳ってお墓のことなんだよ。この古墳は前方後円墳という形で、前は四角く後ろがまるいという意味なんだよ。」と、子どもに分かりやすく、クイズ形式で説明してくださいました。古墳の横穴にも入らせてもらい、魔よけの意味があるという朱色を塗った部分がまだ残って

いる！と見せて頂きました。六世紀から残ってきた物を、今私達が同じく見れる事！感動しました！主人も子どもの頃は、この横穴に入って遊んでいたとのこと。今日も保育園児の子どもがお友達と肩を組み、「友達できた〜♪」と歌う姿に、子どもの頃から古墳、歴史を身近に感じられる環境をありがたく思いました。穴は続いているとのこと。いつか探検できたら楽しそうです。

火おこし体験も難しい！でもやってみると楽しい！子どもも大人も夢中になってやらせて頂きました。息子も「いつか飯が食べれなくなった時のためにできる様になりたい。」と。いつか火をおこせるようになったらいいです。

焼き芋もほくほくして、ねつとりして、すごく美味しかったです。今日のためにさつま芋を育てて頂いたとのこと。

様々な方のお陰で楽しい体験をさせて頂きました。ありがとうございました。ありがとうございました。



子ども科学教室

健全育成部

子ども科学教室にさんかして

縫島 伶河



ぼくは、「ペットボトルでせん風きを作る」科学実験にさんかしました。はじめに風力発電の実験をしました。ペットボトルを切って、風車を作り、発電用モーターに取りつけて、かんせいです。せんぶうきの風を当てて、風車が回るとライトが光る仕組みなのに、ぼくのは光りませんでした。先生に聞くと、風車のおり目が反対だったから、つかない事がわかりました。直して、ライトが光った時はうれ

しかったです。

次に、せんぶうきを作りました。水を入れたペットボトルの

土台に風車を取りつけて、赤と緑のコードを電池にさしこんで、出来上がりです。ペットボトルにすぎな色をぬって、世界で一つだけのせん風きができてうれしかったです。科学実験にさんかして、楽しかったです。またあったら、さんかしたいです。

子ども科学教室を終えて

健全育成部 三村真由美

九月十六日(土)に子ども科学教室を開催しました。今年は風力発電機&世界にひとつだけのオリジナル扇風機を作りました。

講師の桐林リサイクルセンターの湯澤先生から、環境のお話と製作のレクチャーを受け、風力発電機作りに取り掛かりました。モーターにLEDや導線を通してねじったりカバーではさんだりと、ほとんどの子どもさんは初めて扱う部品を手に悪戦苦闘!!しつつ、続いてプロペラ作りです。角を丸く切り落としたり、角を折ったり、絵や色を付けたりと、子供さん達は一心不

乱...さあ、いよいよLEDがつくかどうか...第一関門にドツキドツ!!強い風を受けLEDが点灯した時には、どの子どももハイテンションで目を輝かせていました。続いて土台を組立て、電池BOXをつり下げて世界にひとつだけの扇風機は完成しました。

羽根の枚数、プロペラの曲げ具合、開き具合を自ら考え調整し、研究して作りあげる事ができ喜びもひとしお...達成感に沸き、どの子ども世界にひとつだけの素敵な笑顔の瞬間でした。

最後に湯澤先生から「座光寺の子供さん達は、とても熱心で意欲があり、素直で素晴らしい子供さん達です」と誉めて頂き、幸せ気分いっぱいひと時でした。どの子どもとても良い表情で興味を持って科学に親しむ事ができ「やって良かった。」と思える有意義な事業となりました。

座光寺の未来を担う子供さん達が、体験を通して座光寺を好きになれたり成長している様に考えていこうと思います。

次回も素晴らしい子どもさん達と一緒に体験できる事を楽しみにしています。

星空観察会

健全育成部



八月二十六日(土)、星空観察会が行われました。

公民館育成部が主催し毎年開催されている恒例の活動ですが、本年度は新たに、飯田市美術館のプラネタリウムにて星空についての学習を行いました。

その後、座光寺小学校グラウンドにて講師の奥村茂実先生に解説をしていただき、実際に星空観察を行いました。

観察会では、月・土星などを観察しましたが、月のクレターや土星の「輪」は、テレビや本などでは見たことがあるものの、実際にこの目で実物を見ると、想像以上に美しく、とても感動しました。

更に、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」にも登場する、二重星アルビレオの観察では、肉眼では一つの星ですが、望遠鏡を覗くと橙と青の星が寄り添っているのが観察できました。

星の色の違いは星の温度の違いなのだと学習し、とても勉強になりました。

(広報篠田)

星空かんさつ会に行つて

座光寺小四年 今村 信晴

星空かんさつ会がありました。友達の数君も来ていました。

最初にプラネタリウムに行きました。ちびまる子ちゃんが出てくる星や星座の話を見ました。そのお話には、木星や土星が映りました。そして学校の体育館に集まりました。

雲にかくれてしまう前に校庭に出て星を見ました。

最初にみんなで月を見ました。次に土星を見ました。ぼう遠きようでのぞくと、小さく土星が見えました。そして小さく星が二つ並んでいるのも見えました。よく見たら、黄色にかがやいていました。そして、星空かんさつ会が終わって帰りました。

色々な星座を見たり、ぼう遠きようで

かく大して星を見たり、プラネタリウムで見られたのが楽しかったです。



第2回 麻績いきいき大学 一般教養講座



参加者の皆さんと記念撮影

挑戦しました。各班にそれぞれ一人ずつスタディエッグの生徒さんがついてくれ、丁寧に教えてもらいながら作っていききました。和気あいあいとした雰囲気です。受講者の方々も「楽しく作れた」「初めて水引を作ったけど、丁寧に教えてもらって分かりやすかった」など良い体験ができたようでした。

九月九日(土)十時から麻績の館人形劇ホールにて、第二回麻績いきいき大学一般教養講座が開催されました。(参加者十五名)

麻績いきいき大学「飯田水引」体験講座をふりかえって

飯田OIDE長姫高校 福田 夏希

今回は講師に、関水引店さんと飯田OIDE長姫高校の有志で結成されたまちづくりグループ「スタディエッグ」の生徒さんたちを招き『飯田の伝統工芸。飯田水引を学び、体験する』と題し水引について勉強しました。

まずは、スライドを使って「飯田水引」の歴史や普及に向けた取り組みなどを紹介してもらい、その後四つの班に分かれて実際に水引でストラップなどの手軽に出来る作品に

これまで、様々な世代の方

と親しんできましたが、今回初めてシニア世代の方に向けた体験内容になるか少しばかり不安に思っていました。しかし、中には過去に内職などで水引に親しんでいた方もおられ、想定していたよりも円滑に進めることができました。

体験中には昔の飯田の様子について話してくださり、私たちもお話に夢中になって聞いていた結果、時間が押してしまいました。ですが、家族以外の祖父母の年代の方と話すことが少なくなっている現在の高校生にとって、このような機会はとても重要なものなのだと再確認しました。

「楽しかった」「またやってほしい」と声をかけてくださりとてもうれしかったです。今回の講座を通して、私たちの方こそ皆さまから多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。



高校生による丁寧な指導

今日の献立は?

健康福祉委員 棚田 利治

「男性のための料理教室」は、年間五回開催されています。九月十四日のメンバーとして参加しました。

最初に、講師の片桐先生から、本日の献立の材料の説明と作り方やポイントを教わりそのレシピを見ながら、三、四名に分かれて作りだしました。この日は、三種類(さんまの蒲焼、なすのみぞれ煮、きゅうりと大根の即席キムチ漬け)のおかずを作りました。

チーム毎に、野菜を切る人、調味料を合わせる人、焼く人などに分かれ作りだしました

が、皆さん慣れていて約一時間位で出来上がり、全員で美味しく頂きました。

参加した感想は、公民館の調理道具が古くなりまた数もそろっていない為、是非予算を取って更新して頂きたいと感じました。



クラブ紹介



バッチこい!!

座光寺少年野球クラブ

黒川 佳伸

私達座光寺少年野球クラブは、身体の鍛錬はもとより、礼儀、忍耐力、仲間を思いやる心を養成するとともに、飯伊地区の同世代との交流を通して、子どもたちの健全育成を目的として活動しています。

今年度は、二年生から八年生までの合計二十一名が、監督、コーチ陣の指導のもと、野球好きな保護者の皆様のご協力を頂きながら、毎週土・日曜日



野球で心と身体を鍛えよう!!

に座光寺小学校校庭で練習しています。その他に、飯伊地区の大会に参加したり、焼肉やお楽しみ会、親子対決など大人も子どもも楽しんでいます。

一緒に野球しませんか? 女の子も大歓迎です!!

座光寺の自然 シリーズ ⑩ 冬に咲く花



冬の野を歩いてみると、ときに花が咲いていることがあります。どんな花が咲いているのでしょうか？ 今までの私の記録から座光寺の冬に咲く花を調べました。冬と言っても幅が広く、初冬には秋の残り花、年が明けると気の早い春の花が咲いていることがあります。ここでは正月を中心にしました。

冬に咲く花の 3つのタイプ

- ① 晩秋の花が残っているもの
サザンカ、チャ。晩秋に咲く種類だが時に正月まで残っていることがあります。
- ② 早春の花 ウメ、ロウバイ、ニホンズイセン、スノードロップは一月末に咲くことがあります。早春の種で、座光寺で正月に咲くことはまずありません。
- ③ 正月に咲いている カンツバキ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、セイヨウタンポポ、ハコベ、ホトケノザ、ナズナ、ノボロギク、ハルノゲシなどです。いずれも暖冬と言われると

き、みすばらしく開きます。カンツバキは園芸種で稀に植栽されています。由来は中国原産ともサザンカとツバキの雑種とも言われます。他は草本で、開花の状態をよくみると、本来は春なのでしよう。

なぜ冬に咲く？

草本の多くは冬型一年草と呼ばれる種類です。普通の一年草は春に種子から芽生え、秋に種をつくって枯れます。冬型一年草というのは秋に芽生え、春に花を咲かせて晩春に種をつくって枯れます。一年草はもともと生育期間を一年と短くして、種子の時期をつくり、その種子で冬や乾燥している時期を過ごすという生き方をする種類です。冬や乾期のある地方に適応したのです。その生活史はかく乱地（川の氾濫地や山の崩落地）に好都合でした。また農耕地は人がかく乱するので、畑の雑草が一年草というのもこのためです。

この一年草の中に、他の草

との競争を避け、他の草が無い時期に生活史をシフトした種類が出てきました。これが冬型一年草です。

ここにあげた種類の開花の状態を調べてみるといくつかのことに気づきます。ナズナ、オオイヌノフグリやホトケノザは十二月、ときには十一月から一部の個体が咲き始めます。その個体は気温の状態によつて咲いたり咲かなかったりして春まで過ぎます。ところがその他の多くの個体は正月の頃は蕾もほとんど出ていません。冬の間少しづつ大きくなり、二月の末になると咲き始めます。三月には一気に進みますが、この咲く数はその冬の気温によって異なります。



ホトケノザ



ナズナ

帰化植物！



オオイヌノフグリ
冬に開花したものは結実しない。

冬に咲く植物を調べて気づいたのですが、上記のいずれもが座光寺在来でなく、帰化種なのです。セイヨウタンポポは分かれますが、「ナズナは帰化なの？」と思うかも知れません。ナズナ、ホトケノザなどは史前帰化植物といつて、農耕文化と共に日本に入つたとされる種類です。サザンカ、チャも人が植栽した種類です。

座光寺の冬の花は人がもたらしたもので、冬型一年草が生まれる余地がなく、農耕地や道路などかく乱が冬の花をもたらしただけです。

（伊那谷自然友の会 小林正明）



編集後記

平成二十九年も残すところ僅かとなり、いよいよ平成も「三十年」に突入！と昭和生まれの私には時の流れの早さを痛感します。

年の瀬になると「今年も早かったな」と聞く事が多いと思いますが「長かった」って聞くことは少ないような…。どんな時に「長さ」を感じるのか？おそらく困難や心配事など順調じゃない時、もしくは先に楽しみが待っている時などに感じるのではないかと。思います。皆様にとつて今年の「時の流れ」はどうだったのでしょうか？「早かった」と思われた方は一年間順調に過ごせたと解釈すれば、良い一年だったと思えるのではないのでしょうか。

さて平成三十年は「平昌冬季オリンピック・パラリンピック」「サッカーロシアW杯」と国際的スポーツ大会が開催されます。日本中が歓喜に包まれるような大会になるといいですね。

来年は「戌年」。皆様にとつて「ワン」ダフルな一年になりますように。
（広報〇）